

## 令和 5 年度

# 大阪市域における在宅医療・介護連携推進事業 の取組について

### 大阪市における在宅医療・介護連携推進事業のめざすべき将来像

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、多職種協働により在宅医療と介護を一体的に提供できる体制が構築されている。

# 大阪市在宅医療・介護連携推進事業～取組体制～

## 区役所 を中心に事業実施

ア 地域の医療・介護の資源の把握

イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

力 医療・介護関係者の研修

キ 地域住民への普及啓発

## 健康局 を中心に検討

在宅医療・介護連携相談支援室  
を中心に事業実施  
(地区医師会等に委託)

ウ 切れ目のない在宅医療と介護の  
提供体制の構築推進

エ 医療・介護関係者の  
情報共有の支援

オ 在宅医療・介護連携に関する  
相談支援

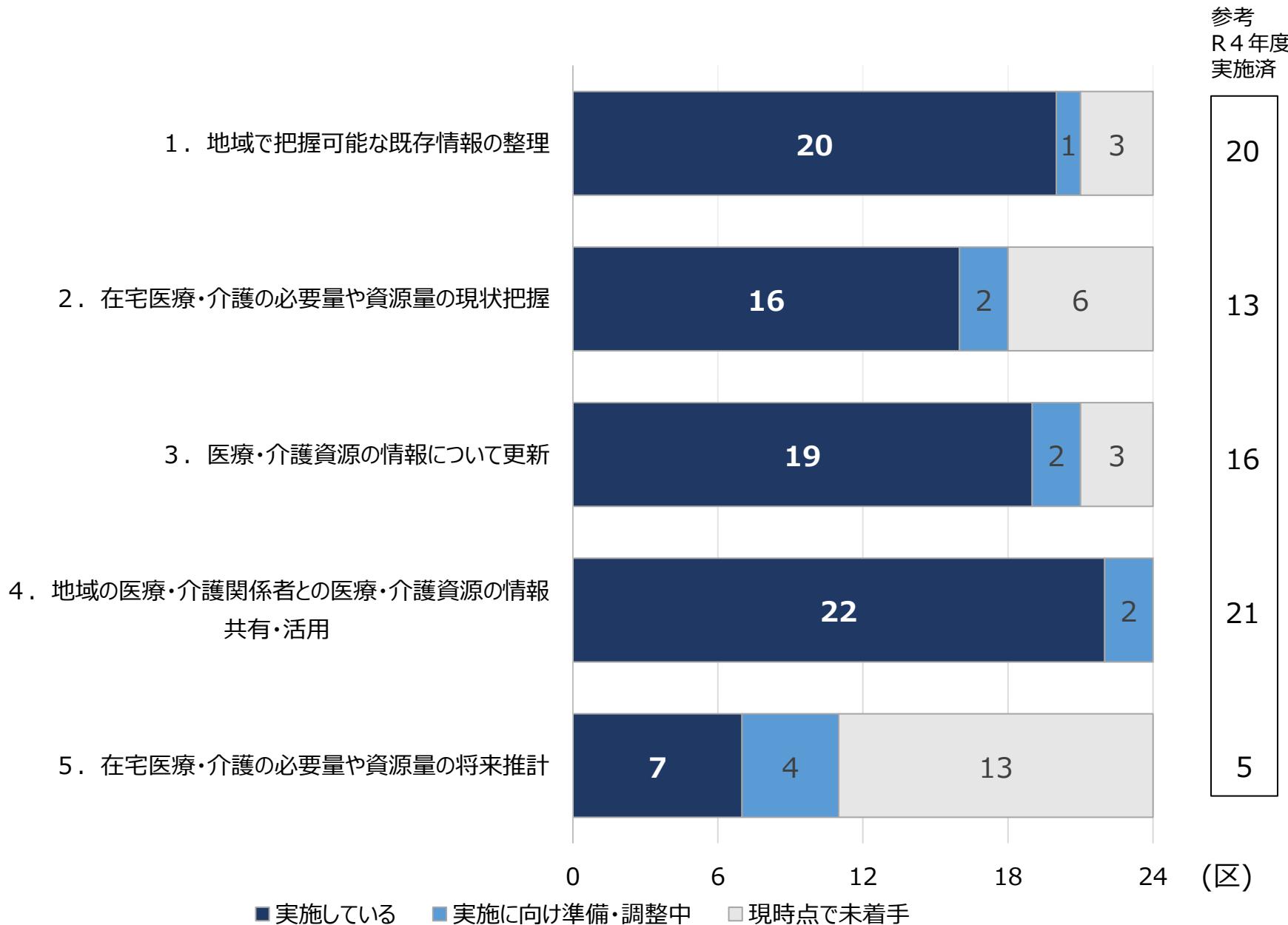
# 連携



ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携  
総合事業など他の地域支援事業との連携 等

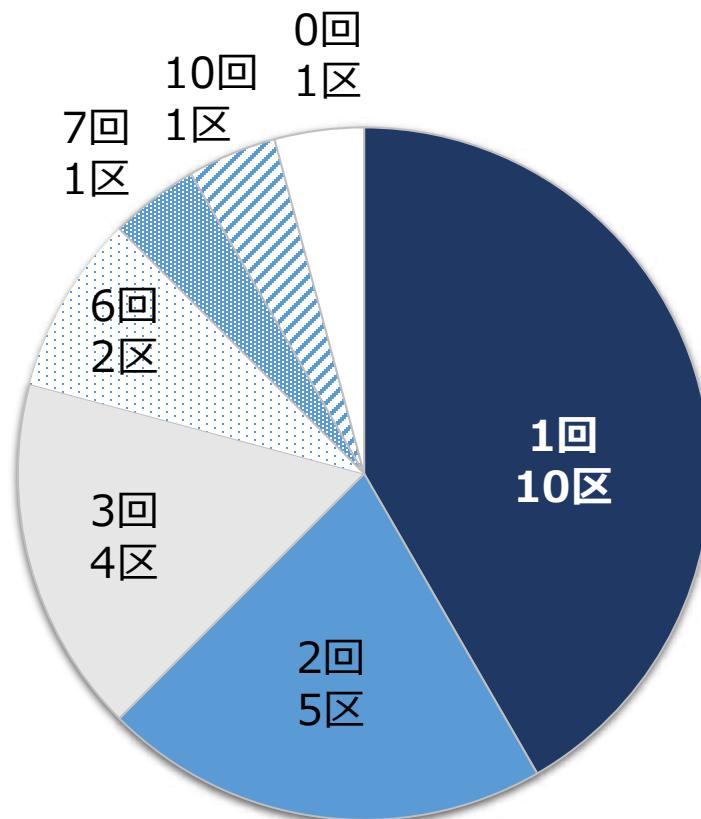
# I . 区役所の取組

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握



## (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

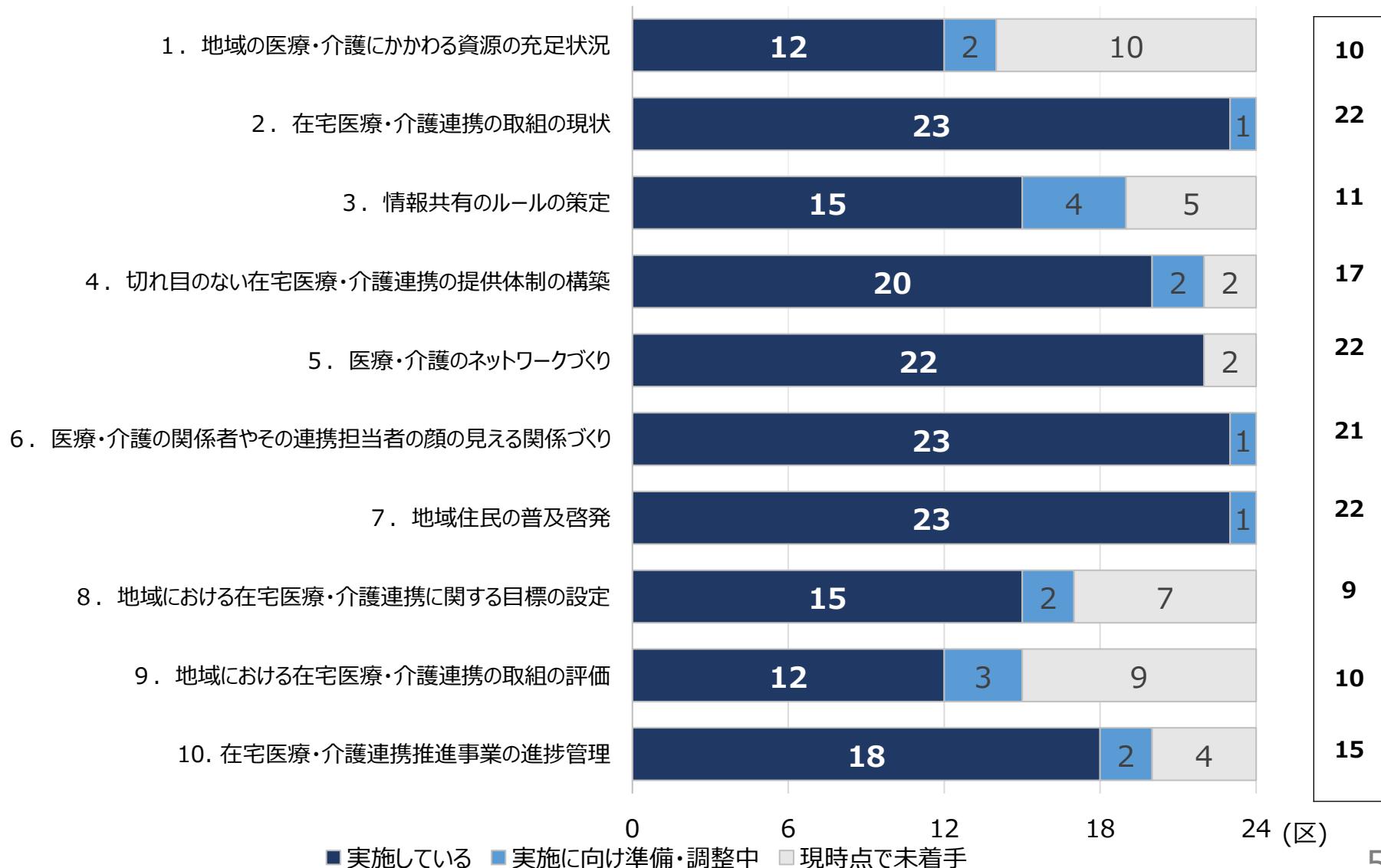
### (1) 事業の進捗や課題について協議した回数



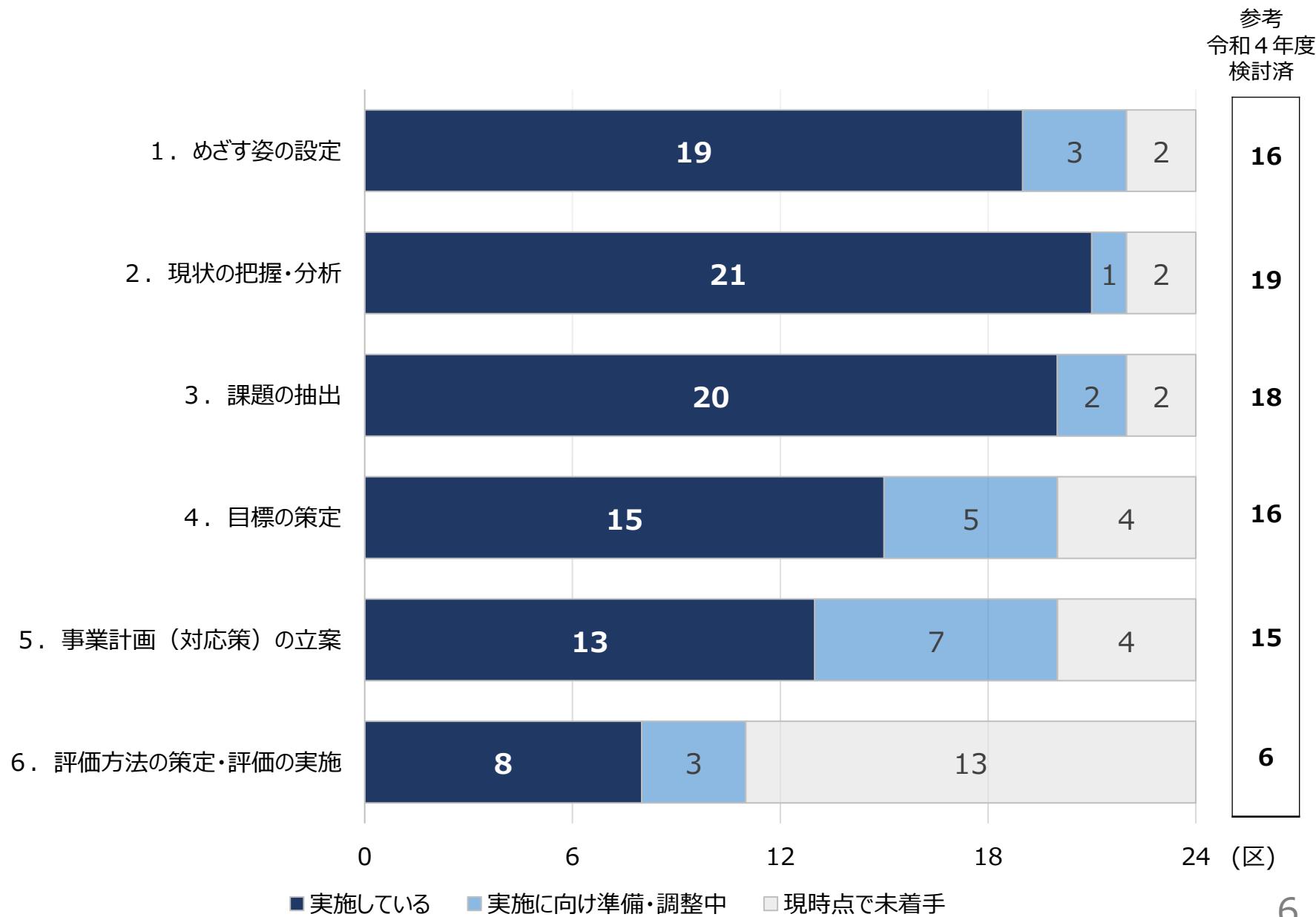
【開催した区数】 令和4年度：21区 ⇒ 令和5年度：23区

## (2) 推進会議（ワーキング含む）で検討した内容

参考  
令和4年度  
検討済



### (3) PDCAサイクルでの事業の進め方



## (4) 具体例

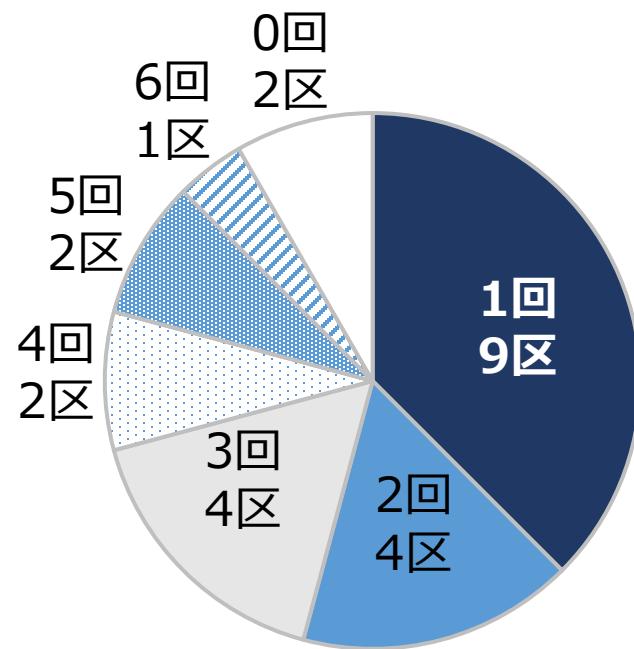
### 1. めざす姿の設定

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、区内の医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的に医療と介護を提供できる。
- 多職種やご家族、地域が連携することによって住み慣れた〇区で誰もが自分らしく在宅で暮らせる地域社会をめざす
- 地域住民と専門職が一緒につくる安心のまちづくり
- 〇区の高齢者等が自分で相談・選択し、〇区で安心して過ごすことができる

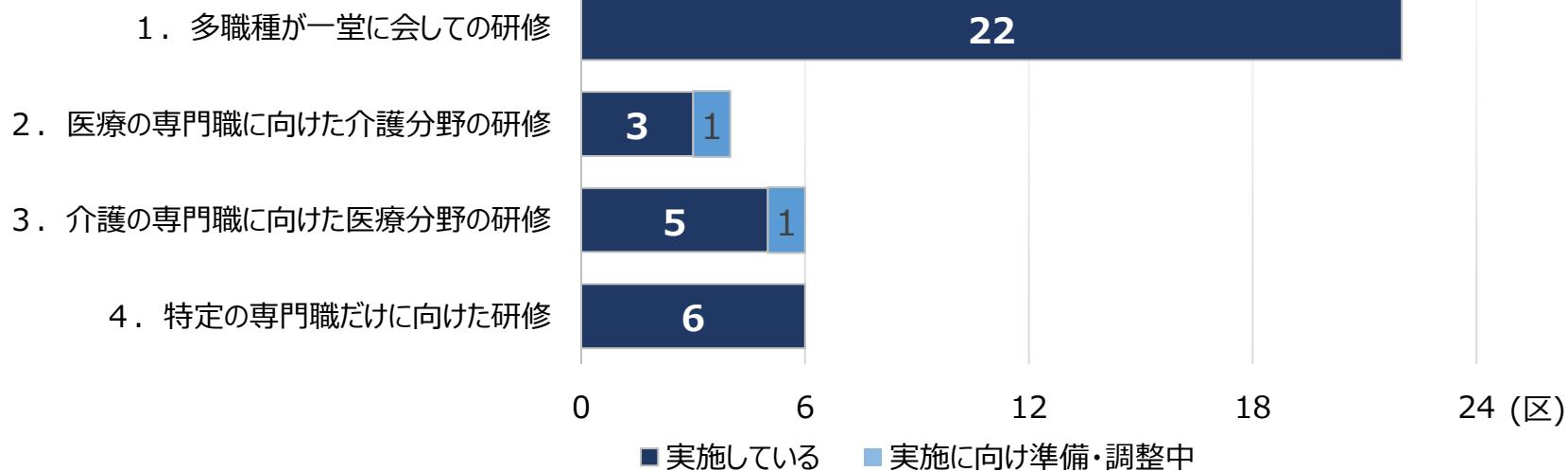
	3. 課題の抽出	5. 対応策の立案
#1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療・介護双方の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多職種研修会等を通じてお互いが顔の見える関係づくりを行う</li> <li>・ 在宅医療・介護連携推進事業について広報する</li> </ul>
#2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複合課題を有している困難事例への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多職種研修会の開催</li> <li>・ 多職種連携ツールの活用</li> </ul>
#3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅医療に関する住民啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民向け講演会の開催</li> <li>・ 市民向けシンポジウムの開催</li> </ul>
#4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACP(人生会議)についての認知度が低く、自らの終末期について考える人が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えるきっかけづくりとなるような、啓発リーフレット作成</li> <li>・ 地域向け講座、動画上映会を実施</li> </ul>
#5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 残薬の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬剤師会等と連携し、ブラウンバック運動推進の取組に必要な支援を行う</li> </ul>

## (力) 医療・介護関係者の研修

### (1) 研修会の実施回数



### (2) 研修会の対象者

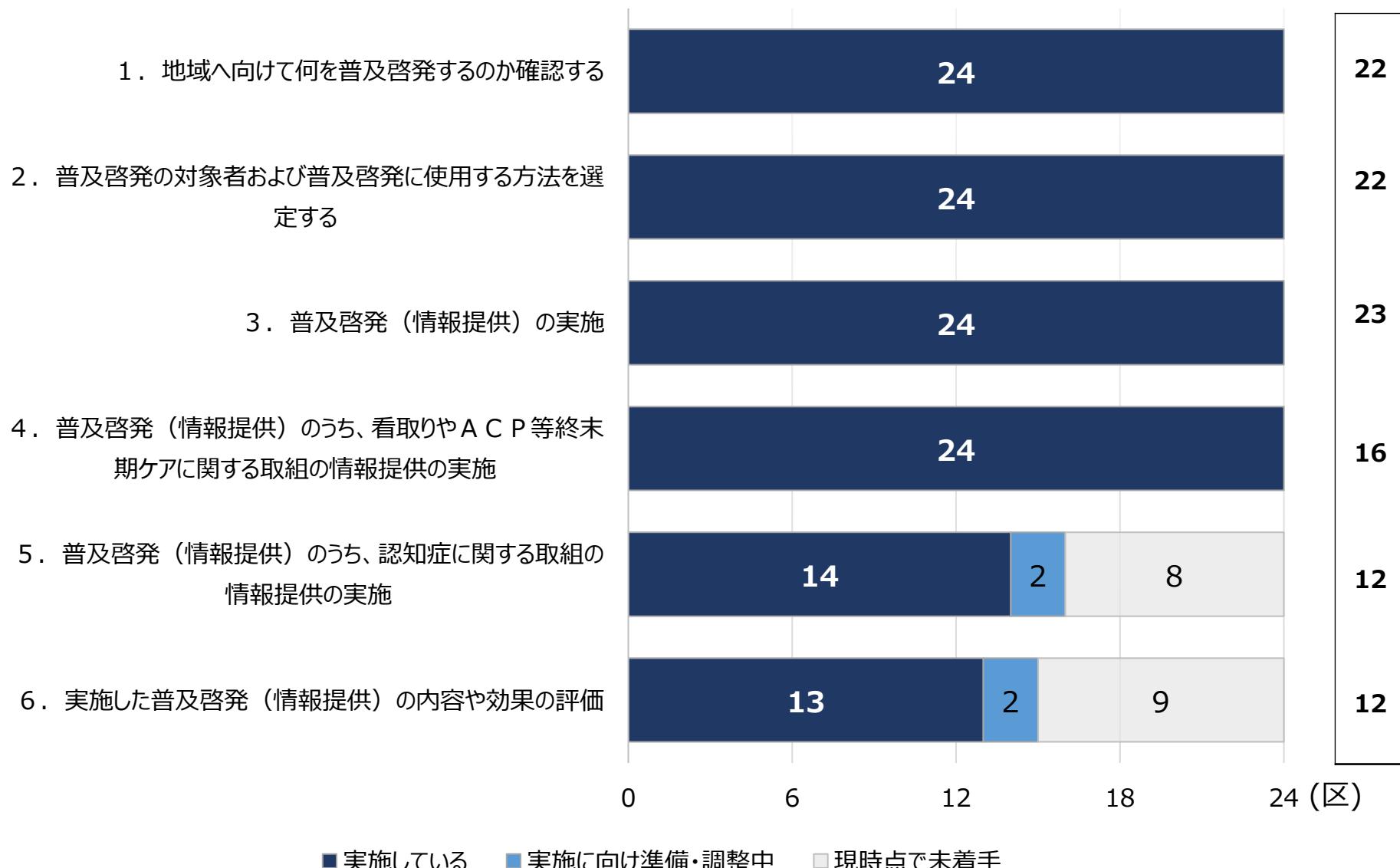


### (3) 研修会のテーマ

ACP	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多職種でいかに終活を支援するか 人生会議ってなに？「認知症を持つ方の『決める』に関わる」</li><li>・ 認知症や障害のある人とのACPを考える</li><li>・ 豊かな人生とともに私の思いを伝えたい</li><li>・ 多職種研修（もしばなゲーム）</li></ul>
認知症	<ul style="list-style-type: none"><li>・ それでええやん～認知症の方と共に生きる社会～</li><li>・ コロナ禍を経て、今一度 認知症の人、家族へのサポートを考える</li><li>・ 認知症ワールドカフェ</li><li>・ 認知症支援のための事例検討会</li></ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 在宅緩和医療勉強会</li><li>・ ○区がONE TEAMになるために～ターミナル期を支える</li><li>・ 感染症予防対策の基本</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多職種との円滑な連携の方法</li><li>・ 助け上手助けられ上手の地域づくり</li><li>・ 包括的視点で進める多職種連携と協働</li><li>・ 災害時のもしもの時を考えよう</li><li>・ 防災の観点からみた在宅医療・介護連携の課題について</li></ul>

## (キ) 地域住民への普及啓発

令和4年度  
実施済



## 11月強化月間における人生会議（ACP）の取組

	取組内容	強化月間 11月の取組	10月まで の取組	12月以降 の取組
情報発信	区広報誌	9区	—	—
	区ホームページの掲載	2区	1区	2区
	SNSを活用した情報発信	1区	—	—
	ポスター・リーフレット等配架、 配布	2区	2区	6区
講演会等	区民向け講座・講演会	9区	2区	8区
	区民向け動画・映画上映会	3区	2区	—
	イベント開催	1区	—	1区
	専門職向け研修会	1区	1区	8区
合計		28区	8区	25区

※ 1区あたりで複数の取組計上あり

# ホームページ

東淀川区  
Higashiyodogawa Ward

Language English 中文简体 한글 Other L

A 文字サイズ 大きい 標準 小さい 背景色 標準 黒 茶

ホーム暮らし生活安全・安心福祉・健康子育て

トップページ > 福祉と健康 > 高齢者のための福祉 > 高齢者の方へ > 在宅医療・介護連携

## 在宅医療・介護連携推進事業

ページ番号: 544161 2023年12月5日

### 在宅医療・介護連携推進事業

#### 在宅医療・介護連携推進事業について

1. 地域の医療・介護の資源の把握・共有  
○在宅医療・介護のあんしんマップ
2. 課題抽出と対応の検討（連帯推進会議、実務者会議の運営）
3. 在宅医療・介護連携などの情報共有・研修
4. 区民の方への普及啓発・情報発信  
○在宅医療・介護についてのリーフレットを配布しています  
○「フレイル予防で健康長寿」のリーフレットを配布しています

#### 在宅医療・介護連携相談支援

- ・在宅医療・介護連携相談支援室の設置
- ・東淀川区在宅医療・介護連携相談支援室

# 鶴見区

トップページ > 著らしの情報 > 健康・医療 > お知らせ > もしものときに始めましょう！「人生会議」

## もしものときに始めましょう！「人生会議」

ページ番号: 571838 2023年12月5日

### ご存知ですか？「人生会議」

誰でも、いつでも、命に係わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われており、希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

もしものために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。



東住吉区  
Higashimiyoshi Ward

Language English 中文

Google 検索

トップ お知らせ 区の概要 らし 保健・福祉 子育て

トップページ > 保健・福祉 > 在宅医療 > 東住吉区連携マニュアルを作成しました

## 東住吉区連携マニュアルを作成しました

ページ番号: 587847 2023年12月28日

### 在宅医療介護連携に携わる専門職の方へ

東住吉区在宅医療連絡会（構成団体：大阪市東住吉区医師会・東住吉区歯科医師会・東住吉区薬剤師会・東住吉区ケアマネ連絡会・東住吉区内訪問看護連絡会・東住吉区内地域包括支援センター・東住吉森本病院・東住吉区役所）では、医療・介護のそれぞれの職種がうまく連携して、患者様・利用者様が住み慣れた街でその方らしく暮らしていくよう、東住吉区連携マニュアルを作成しました。

今後の業務にご活用いただければ幸いです。

# 広報紙

## 福島区

港図

西成区

い い い と う

# 11月30日は「人生会議」の日です

保健師会議 (東京) 20624番  
☎6464-9882 ☎6462-4854

誰にでも医療やケアが必要になる時は訪れます。  
もしもその時のために、自分の希望や気持ちについて、考えてみませんか?

1 **お話を聞く際に、大切にしたい事を  
考えてみましょう**

家族や友人のそばにいたい  
好きなことをしてみたい  
家族に負担かけたくない

2 **もしものとき、あなたの思いを  
伝えてくれる人を選びましょう**

どんな時でもあなたの希望を理解できる人  
友達、お隣さん、ご主人など…

3 **かかりつけ医に  
質問してみましょう**

今後予想される経過は?  
必要な医療やケアは?

4 **希望する医療やケアについて  
話し合いましょう**

高齢やつらががけ 入院せず、自宅  
で過ごしたい

5 **書き留めておきましょう**

話し合った内容は記録  
として書き残し、高齢と  
共にしておきましょう

里島区役所では、人生会議について、  
里島区在宅医療・介護連携相談  
室開設、里島区地域包括支援センターとの連携、開講の共有を進めるとともに、区民のみなさまへの普及啓発に取り組んでまいります。

**区民講座**

「最後まで自分らしく生きるために人生会議を始めましょう!」

人生会議とは、もしもに備えて、あなたの健やかさや介護について今もっと考えて、医療や医療などと算り返し話し合いをしておきますことです。

もしも高齢半生と書いたら…、そんなに私の話を  
するためにはカードが作った体験カードが「もしバナーカード」  
です。もしバナーカードを使ってゲームを通して、「自分ら  
しく生きる」ことについて一緒に考えてみませんか?

■ 11月30日(木)14:00~15:30(受付13:30~)  
■ 里島区役所 6階会議室  
■ うさぎファーマー 矢野 知子先生  
■ 人生会議とは(先生のE説)、  
もしバナーカード  
■ 40名(先着順)  
■ 電話または窓口にて

## 中央圖

# 研修会・講演会

西淀川区

**西淀川区在宅医療・介護連携推進事業**

**がんとお金とACP(人生会議)**

日時 令和5年12月16日(土) 14:00~15:30(開場 13:30)

場所 西淀川役所 5階 大会議室  
西淀川区御幣島1-2-10

予約不要 入場無料 定員100名

**基調講演 がんとACP(人生会議)**

講師 ▶ にこよし地域包括ケアシステム委員会 委員長 西淀川区議会 赤堀 実治氏

講演 ▶ 40~50代の方にも知ってほしい  
がん治療にかかるお金の話

他事だと思っていませんか?  
~あなたとあなたの大切な人の最期~

講師 ▶ 大阪府がん診療圏立院  
社会医療法人更一會 幸祐病院  
がん治療センター  
相談員 高橋 仁之 氏  
相談員 ケア認定看護師 岩本 真由子 氏

【多職種で患者、家族の思いをつむぐ】

終末期がん患者の在宅療養を支援した宣伝  
~終期まで生きてりたい希望を持続するACP~

講師 ▶ 千北診療所 所長 朝口 爰氏

主催 西淀川区役所に~よん地域包括ケアシステム委員会  
問い合わせ 西淀川区役所 保健福祉課 健康推進グループ TEL 06-6478-9882

QRコード

西区

**区民講演会** (大阪市都民宅地組・介護連携推進事業)

**西区で充実した人生を生き抜くために~人生会議のススメ~**

人生会議(Advanced Care Planning)とは  
「もしもの場合ために、あなたがどのように過ごしたいか、大切にしていること、希望する医療やケアについて、あなたが選択できる人を選んでおこうことです。」

「もしもの場合のために、あなたがどのように過ごしたいか、大切にしていること、希望する医療やケアについて、あなたが選択できる人を選んでおこうことです。」

今回西区で充実した人生を生き抜くために~に鑑し、「人生会議」を分かりやすくお伝えするのと共に体験することができます。奮ってご参加ください。

令和6年 3月26日(火) 14:00~15:30 (開場 13:30) 参加:無料 定員:先着順 100名

**第1部 14:00~** 西区での思い出をあなたらしく遺す~寄付という選択~  
講師:READYFOR㈱

**第2部 14:15~** 西区で充実した人生を生き抜くために~人生会議のススメ~  
講師:安井 博規

ハウスピルシステム西区民センター1階大ホール

申込方法 (〆切) 3月19日(火)  
 • 申込フォームから(下記の二次元コードを読み取り、ご入力ください)  
 • 電話 (下記の問合せ・申込み先の番号にお電話ください)  
 • FAX (下記申込に必要事項記入のうえ、FAX送信ください)

主催 大阪市西区保健福祉センター TEL:06-6532-9882  
問合せ・申込 大阪市西区役所保健福祉部(地域保健・保健活動) FAX:06-6532-6246

「人生会議のススメ」を広げよう

市会は、住民の自ら組織です。「地域のきずなづくり」ための町会に加入して、地域の活動に参画しましょう。

旭区

最後まで自分として生きるために必要なこと【本の範囲を超して考えてみませんか】

**人生会議を考える**

区民啓発講座

3/27(土) 13:30~15:15 旭区民センター 小ホール

今和5年度  
旭区連携会議  
多職種研修会

**人生会議を考える**

区民啓発講座

3/27(土) 13:30~15:15 旭区民センター 小ホール

『支援を拒む高齢者に、どうアプローチをするのか』

Contents

第1部 令和5年度推進会議の報告

第2部 多職種研修会

「地域の課題を多職種で考えよう」

●事例におけるストレングスは?  
●「がん」と協力して、「どんな」声掛けを行なう?

第3部 総括

お申込みは、旭区在宅医療・介護連携相談支援室まで (TEL/FAX: 06-6955-0600)

お名前	性別	事業所名	電話番号

主催: 旭区保健福祉センター 共催: 旭区在宅医療・介護連携相談支援室

イベント

港区



11/30 スーパーでリーフレット配布とACPノート紹介コーナー

西淀川区

12/3 福ハッピーフェスタのブース展開

起こった出来事(突然の事故/突然の病気/認知症/がんの告知など)をもとに、  
どんなことを考えておけばよいか、カードを使いながら考えてもらいました。



# ポスター・リーフレット等

西区

皆さんの質問にお答えします

Q 「在宅医療」は誰でも受けられる?

A 病状や状況による制限はなく、医療が難しい状況であれば、誰でも受けることができます。ただし、地域によっては、医療が難しい状況では在宅医療を受けることはできません。

Q 「在宅医療」のメリットは?

A たとえば、ハイビームでも生活するなど、今まで通り日常生活を続けることができます。また、自宅で安静に休むことができます。また、医療機関に通院するよりも、自宅で安静に休むことができます。

Q お宅から医療機関が来ます。医療がかかるときに何を心がけようと思います?

A お宅は高齢者の施設で過ごすくください。病院での検査がなければ、医療機関を訪問するよりも、お宅で過ごすくください。

Q 「在宅医療」はいつまでも住み慣れた環境で過ごしたい在宅医療という選択

いつまでも住み慣れた環境で過ごしたい在宅医療という選択

自宅にいても医療や看護を受けることができます

もしものときのために

Q 病状が悪くなったらどのように対応します?

A 連絡先を優先順位の高い順に作成しておきましょう

Q 病院に行くときは何を心がけます?

A お宅はおもむかしくて対応をくだけます。病院での検査がなければ、医療機関を訪問するよりも、お宅で過ごすくください。

Q 入院した時は、かかりつけ医、訪問看護師、アマタジャーに連絡を入れましょう

Q 万が一の時に、希望する治療や介護を家族やかかりつけ医へ伝えておきましょう

万が一のときの治療や介護の希望チェック表

病名・予後の告知	施設を看取られたい場所	延命治療について
<input type="checkbox"/> 全てを理解している	<input type="checkbox"/> 曲石	<input type="checkbox"/> 開放
<input type="checkbox"/> 全切しないでほしい	<input type="checkbox"/> 痘瘍	<input type="checkbox"/> その他の
<input type="checkbox"/> 病名のみ告知	<input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器
<input type="checkbox"/> 予後ののみ告知		<input type="checkbox"/> 点滴薬のみ
		<input type="checkbox"/> 望まない

△ その時がきたら考えられない・・・だから今、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医師などと共有する取り組みを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。

命の危険が決った状態になると、約70%の人気が考え方を伝えたりできなくなるとされています。

病気にならざるを得ないときに、どこで医療したいなど、話し合い、書き留めておきましょう。

西区役所 保健福祉課  
大阪市西区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室

お問い合わせ：西区保健福祉課医療課（在宅医療） 06-6350-9102

旭区

YouTube 【介護】短編映画  
一人で抱え込まないで

子ども 地域 介護家族

旭区在宅医療・介護連携推進事業では、旭区の高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるよう、医療と介護を一体的に提供できる体制の構築、医療・介護関係者の研修や、地域住民への普及啓発に取り組んでいます。

テーマごとの短編映画となっております。是非、ご視聴ください。

視聴者アンケートにご協力ください ➡

旭区在宅医療・介護連携推進事業では、旭区の高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるよう、医療と介護を一体的に提供できる体制の構築、医療・介護関係者の研修や、地域住民への普及啓発に取り組んでいます。

テーマごとの短編映画となっております。是非、ご視聴ください。

QRコード

大正区

今だけ在宅医療・介護連携推進事業

一住みなれた地域でいつまでも過ごしたいと思うあなたへ

まかせて安心  
在宅医療マップ!!

たんくん タージィ カケハちゃん

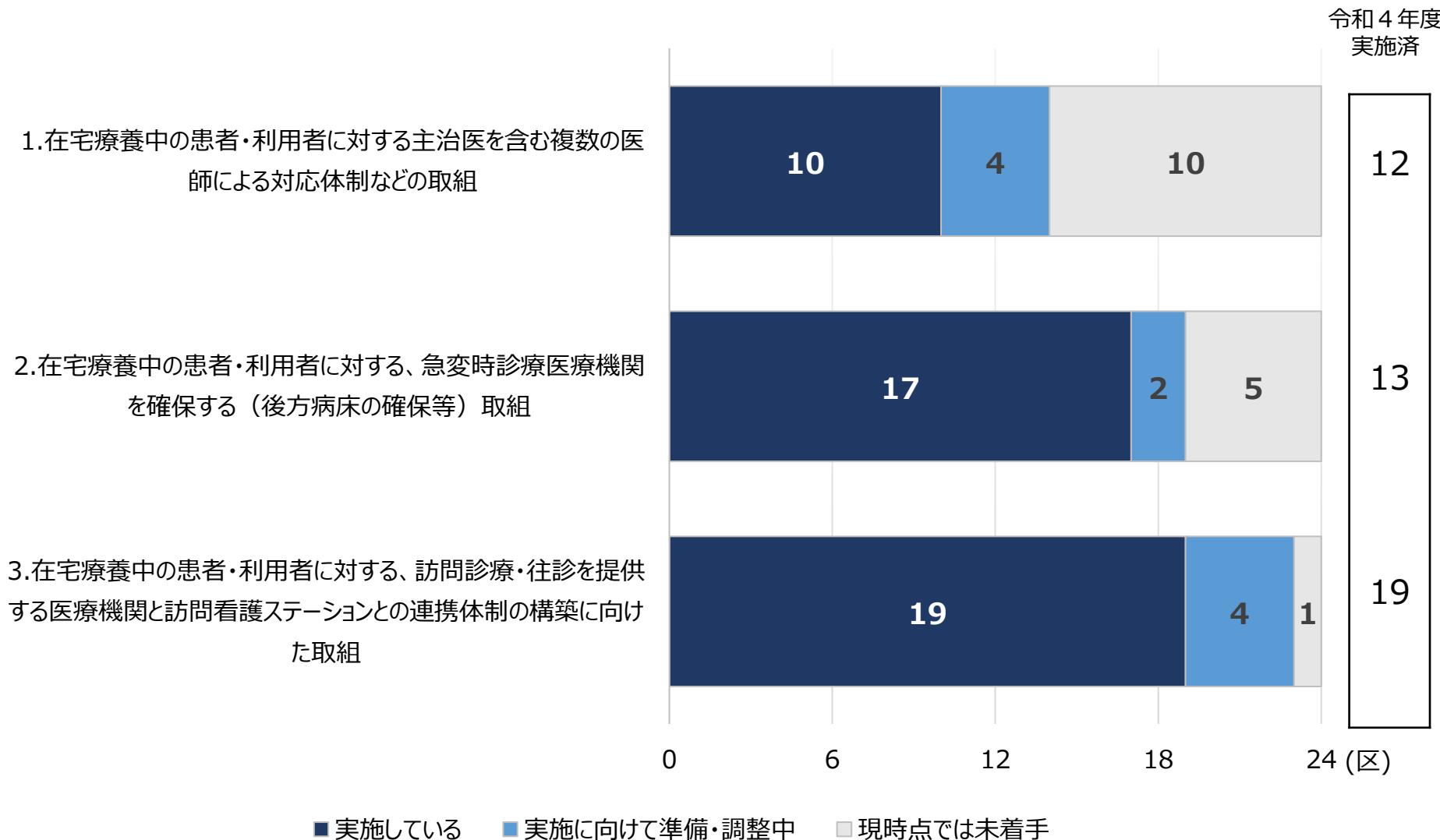
大正区マスコットキャラクター

発行：大阪市大正区保健福祉センター  
協力：大正区在宅医療・介護連携推進実務者会議

2022年12月発行

## II. 相談支援室の取組

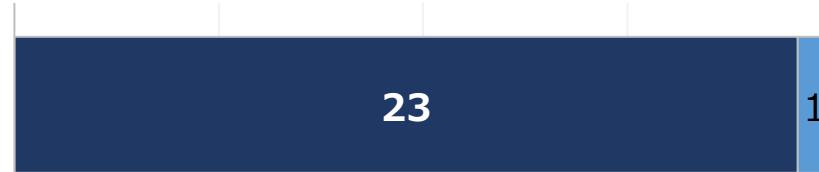
## (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進



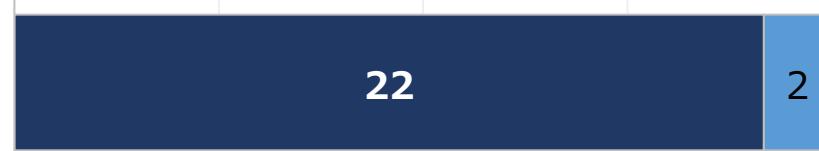
# (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

令和4年度  
実施済

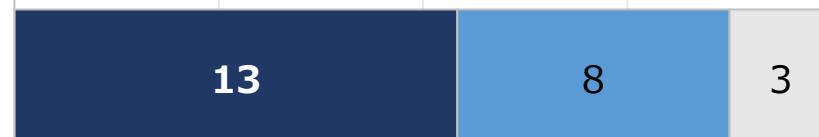
1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法についての検討



2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認



3. 地域で充実又は作成するべき情報共有ツールの検討



4. 情報共有ツールの導入や利用促進



5. 4. で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善



20

16

12

13

6

0 6 12 18 24 (区)

6

■実施している

■実施に向けて準備・調整中

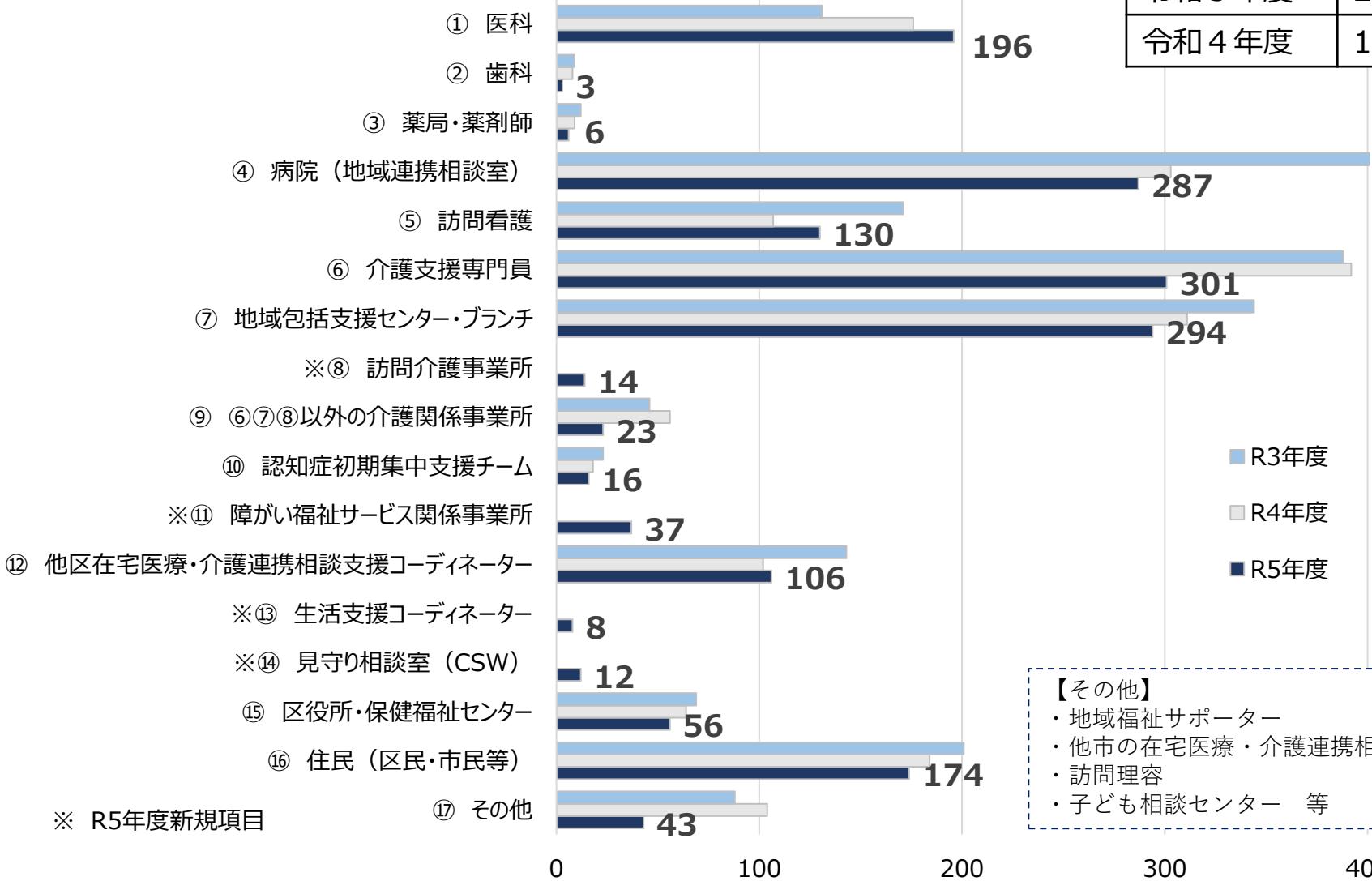
■現時点では未着手

19

# (才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 1,706件

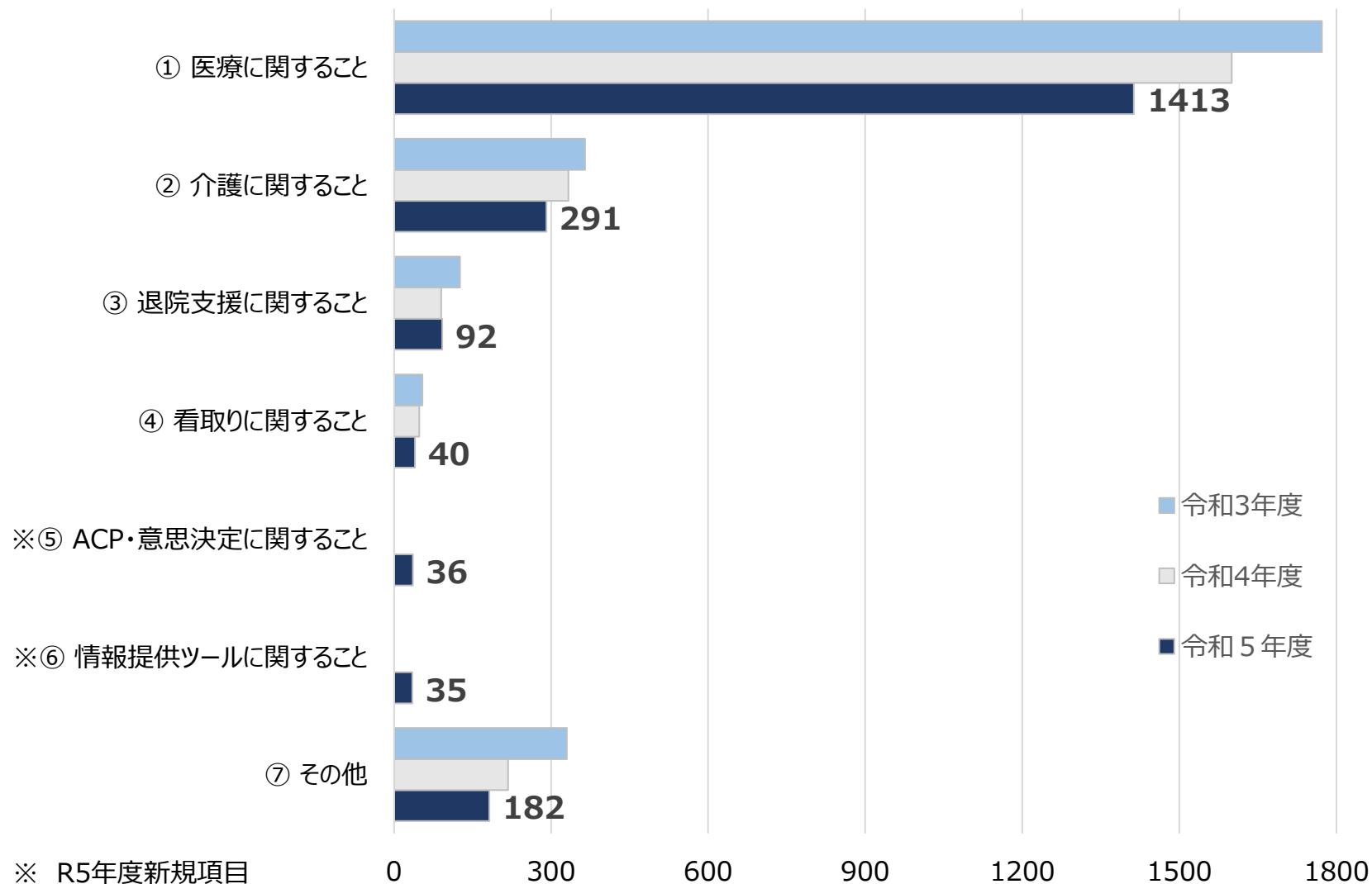
【相談件数】	
令和3年度	2,028件
令和4年度	1,834件



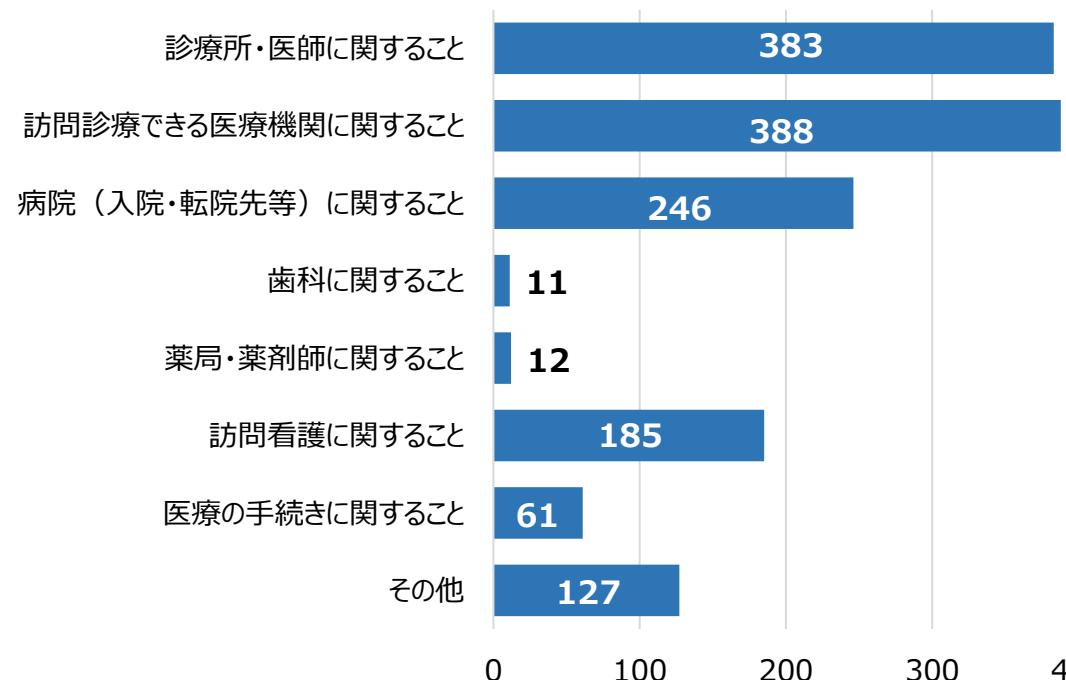
【その他】  
 ・地域福祉センター  
 ・他市の在宅医療・介護連携相談支援室  
 ・訪問理容  
 ・子ども相談センター 等

介護支援専門員、地域包括支援センター・ブランチ、病院（地域医療連携室）からの相談が多い

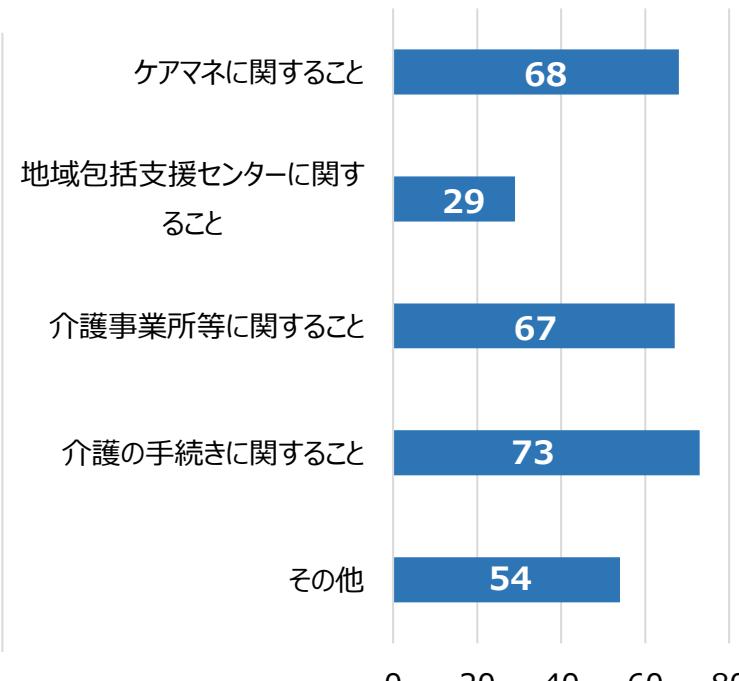
## 【個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）】



## 【医療に関すること（内訳）】



## 【介護に関すること（内訳）】



## 会議・研修会等への参加

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会議出席回数	2,120	579	1,896	2,213	2,505
市・区の会議、研修会	727	186	615	778	829
関係機関との会議、研修会	1,393	393	1,162	1,435	1,557
(再掲) 地域ケア会議	144	42	130	143	119

### **III. 健康局の取組**

# 1. 事業の進捗管理

## (1) 在宅医療・介護連携推進会議

## (2) 区役所・相談支援室への取組調査

### (1) 在宅医療・介護連携推進会議

・年3回開催

第1回：令和5年7月21日

第2回：令和5年12月22日

第3回：令和6年3月22日

・主な議題：区役所・相談支援室の取組について

健康局の取組について

人生会議（ACP）強化月間について

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標について

大阪市の在宅医療にかかる今後の体制について

### (2) 区役所・相談支援室への取組調査

・事業の取組状況について区役所、相談支援室へ年2回/調査を実施

## 2. 広域連携の仕組みづくり

### (1) 多職種研修会

### (2) 大阪市『在宅医療・介護連携相談支援室』活動報告会

### (3) 市民への人生会議（ACP）の普及啓発

#### (1) 多職種研修会（基本保健医療圏域ごとに開催）

目的：区域を越えた専門職の連携の強化

さまざまな職種の専門職が職種を越えて交流し、その職種ならではの視点・役割・重要性を知る機会とする

テーマ：看取り場面を全体テーマとする

北ブロック 『歓びのある看取り』 (参加者 76人)

西ブロック 『自宅や施設で最期まで過ごすために知っておきたいこと

～ACP看取りの経過について～』 (参加者 97人)

東ブロック 『広げよう！地域で支え合い！幸せに暮らせるまちを多職種でつくる』  
(参加者 108人)

南ブロック 『在宅看取りの主役は誰？』 (参加者 78人)

## (2) 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」活動報告会

目的：切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供体制の構築のため、相談支援室の周知を図り、広域的な医療・介護関係機関との連携推進を促進する

テーマ：『在宅医療・介護連携相談支援室』の活動報告

特別講演『地域包括ケアシステム構築の未来を見据えて  
～在宅医療・介護連携の現在とこれから～』

講師 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社

共生・社会政策部長 / 主席研究員 岩名 礼介 氏

(参加者 139人)

## (3) 市民への人生会議（ACP）の普及啓発

目的：大阪市全体として人生会議（ACP）の認知度を向上させる

取組：局主催の人生会議（ACP）普及啓発セミナーを実施

テーマ：『人生会議は映画「わたし」の脚本づくり』

講師 医療法人 綾正会 かわべクリニック 看護師 川邊 綾香

出演 東淀川区住みます芸人 福人「ふくんちゅ」

(参加者 108人)

### 3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

#### (1) 区役所への支援

#### (2) 相談支援室への支援

##### (1) 在宅医療・介護連携推進事業 区担当者等説明会

目的：本事業の概要や各区役所、各区相談支援室及び健康局の役割と連携体制について知識を深めるとともに、各区の取組を情報共有することにより、より一層事業への理解を深め、地域での連携を推進する。

テーマ：『在宅医療・介護連携推進事業の進め方について』（参加者 43人）

##### (1) (2) 区担当者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

目的：地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、区担当者や在宅医療・介護連携支援コーディネーターのスキルアップを図る。

テーマ：第1回 『絆を深め、情報共有できる最先端の会議スキル

～在宅医療・介護連携の推進を目指して～』（参加者 59人）

第2回 『在宅医療・介護連携推進事業の取組調査について』（参加者 52人）

##### (1) (2) 区役所及び相談支援室への個別支援

- ・区役所・相談支援室へのアウトリー
- ・新任コーディネーターへの支援